



特集1

ありがとう！
うえだんな もんきー。

この春卒業の二人からのメッセージ

特集2

こうざんはいつもよいきせつ

雪解け～春の鉦山の自然を紹介します！
春から始まる新プログラムを紹介！

リレーコラム：カマンベツに呼ばれて
鈴木利典（洞爺財田自然体験ハウス）

スタッフルーム

MJ days お茶しませんか？／ふおれほらこら／
エンドのひるね／<New!!>受付嬢は見た！

KOUZAN EVENTS

今月もイベントがいっぱい！

photo: 松原 條一

鉦山録

登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉦山」ニュースレター

22 Apr. 2008

発行：特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織「モモンガくらぶ」

〒059-0021 登別市鉦山町8-3 登別市ネイチャーセンターふおれすと鉦山

TEL/ 0143-85-2569 FAX/ 0143-81-5808

E-mail: kouzan@npo-momonga.org URL: <http://npo-momonga.org/>



**ふおれすと鉾山が立ち上がる時から
ずっと関わってきた。
今、本当に色々な団体に関わるようになって、
アツイ思いが育って、そうして思ったこと。
「もう大丈夫。コーザン卒業だな。」**

ふおれすと鉾山は、実に様々な団体が利用します。その団体のうちのいくつかは、ふおれすと鉾山で、ぼくたちと一緒にやった活動がきっかけで生まれました。子どものキャンプをやる団体や、工作を作る団体、幼児の野遊びを進める団体…。いつの間にか消えてしまった団体もあれば、ますます活動が盛んになってきている団体もあります。が、とにかくいろんな人に「こういう団体作りませんか」だなんて話をふっかけて、ややケムたがられながらもいろいろやってきました。

そんなある日、幼児の野遊びをやる団体の代表の方が「うえださあ〜ん、聞いてくださあ〜い」とやってきました。なんだ？と思って聞いてみると「わたし、会の代表を離れることになったんです」「若いお母さん達が、私たちの活動を引き継いでくれることになったんです！」だなんて、とっても嬉しそうに笑顔で話してくれるのではないですか…。

この団体が立ち上がり、進められるにあたっては実に様々な出来事がありました。最初は、自分の子どもに自然体験をさせたい、という「自身のアツイ思い」がきっかけだったと思うんですね。で、1人じゃツマンナイから、周りの小さな子たちも誘い始め、気がついたら30組以上の親子を抱える大きな団体になってしまいました。だから、その方はやらなきゃならないことが次から次へと生まれはじめ、いつしかいろんな人と、都合や諸事情を重ね合わせる「マネジメント」に奔走することになったのです。ご本人も「こんなことするつもりじゃ…」と何度も思ったことでしょう。でも、くじけないで頑張って頑張ったら、その「自身のアツイ思い」に共感し、引き継いでくれる人が現れた

わけです。これって、嬉しいですよね。なんかこう、報われた感じがしますよね。

自分が思い、やってきたことは間違っていなかったと。子どもを野山に連れて行きたい、という思いは自分だけじゃなかったと。

こんな話を聞いた瞬間、「あ、もう大丈夫」「コーザン卒業だな」と心から思いました。ふおれすと鉾山に来てほぼ6年。いろいろな人の思いや願いというバトンを受けて、そしてぼくのできることを紡ぎあわせて、ここまでいろんなものを作ってきました。そんな「作品」たちが、ぼくの手を離れ、有形無形いろんな形に姿を変えながら、次の人また次の人へとバトンが渡されているようすが見えたような気がしたのです。

よかったなあと思う反面、気が引き締まった感もあります。「あとはこっちでやるから、アンタはあんなことやりなよ」といろんな夢や希望、そしてアイデアが詰まったバトンを渡された気分です。

さて、そのバトンを使ったら、どんなことができるかなあ。もっといろんな子達とキャンプをしようか。もっと登別や室蘭が元気になるようなこともしたいな、いや、もっと広い範囲でできるかもなあ。いよいよガイドに挑戦するか…。そうか、それらをまとめて「いぶり自然学校」なんていうのはどうだ？うん、いいなあ、それだ！

ということで、本年度をもちまして、私はふおれすと鉾山を卒業いたします。

こうして心身ともに健康でいられるのは、皆様からいただいた愛のお陰です。この場をお借りいたしまして、深く深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後は、先述にもありましたように、「いぶり自然学校」という地域の一人材資源としてこの地域に貢献したいと考えています。

今後とも、どうぞよろしく願い申し上げます。

上田 融

うえだんだん
もんきー

あ
り
が
と
う
。

ふおれすと鉾山がオープンして、丸6年という月日が流れました。いろんな人と出会って、さまざまな体験を積み、ふおれすと鉾山を先駆的に開拓してきた『うえだんだん』と『もんきー』が、この春、さらなる大きな夢を抱いて、ふおれすと鉾山を卒業していきます。次のステージにいつても、なにかしらふおれすと鉾山とはつながりがあるはず。いつでも、みんな待っているからね！！

**鉾山の父さん母さん、
おじい、おばあ、子どもたち、
そしてみんな、
ありがとう。**

あそびにきては、親しく"あつまんきー!"と呼んでくれて、かまってくれた子どもたちや、大人の皆さん。

「長期研修」という名目で一年間、一緒に汗を流し、共に考え、そして仕事以外のことでいろいろなと勉強させてくれた3名の先生の皆さん。

勉強は家事、子育て、仕事の合間を縫ってお手伝いに来てくれた学生の皆さん、お母さん、お父さん、おじさん、おばさん、おねえさん、おにいさん、おじいさん、おばあさんの皆さん。

仕事の合間にフッと立ち寄りたくなり、行くといつも変わらず迎えてくれ、お茶のませてくれたり、昔ばなしや生活に密着したイキイキとした自然情報を教えてくれたり、いつでも親身になって力を貸してくれた鉾山町のおじい、おばあ。

そして、数多くのヘマをする僕をありのまま受け入れてくれ、一緒に仕事をさせてくれたふおれすと鉾山スタッフの皆さん。

また、みんなでいても、一人でいてもいつも変わらずに見守ってくれ、あそばせてくれた鉾山町の森、川、いきものの皆さん。

4年間、
ありがとうございました！

思い返すと、
皆さんのおかげで、
たくさんたくさん
夢中になっている自分がいました。
こんな職場、ふおれすと鉾山はやっぱり素敵ですね。

これからも
ふおれすと鉾山はだれもが、
自然の中でイキイキと夢中になれる場所であってくださ
いね！

そして、僕も時には
夢中になり、
これからもふおれすと鉾山に来させてくださいませ。

西埜 将世

うえだんだん もんきー

2001年4月1日。小学校の教員でありながら、社会教育施設・ふおれすと鉾山で働くことを決意し、おおいなる期待と一抹の不安を胸に、ふおれすと鉾山へやってきた。以来、幼少期の川ガキ経験をもとにコーザン流川遊びを確立し、数々の新進気鋭の自然体験プログラマーとして活躍する。その後、NPO法人ねおすに所属し、地域の子どもの自然体験活動に貢献している。



2004年4月15日。宮崎での二ホンザルの調査を終え、ねおすのM氏にオモシロイ顔だからという理由で採用され、おおいなる夢と緊張を胸に、ふおれすと鉾山へやってきた。以来、「まーしー」からふおれすと鉾山を訪れる子どもたち・大人たちのハートをわしづかみする「もんきー」へと変身、森のようちえんをはじめとする子育て支援事業をつくりあげ、持ち前の分け隔てのない「もんきー節」で、ふおれすと鉾山に関わる人々の心を癒してきた。

こうざんはいつもよいきせつ>08はる

はるはるかむかむ!

Spring has come!

柳【ヤナギ】や辛夷【コブシ】を筆頭に始まる木々の芽吹き。森の色を日々変化させていく芽吹きは季節の移ろいをはっきりと感じさせてくれる。5月も中頃を過ぎた頃からは、カエデの新芽が赤く色づく「春紅葉」が楽しみだ。ヤナギは鉱山橋で目の前に、コブシはふおれすと鉱山の敷地内でも見ることが出来る。

移り行く山の色彩

残雪の森で遊ぼう!

固い残雪は歩きやすく、実はお散歩に最適だ。そして何よりも楽しみなのが、尻すべり。ちょっとした斜面でもスピードが出て、かなりエキサイティングだ。解け始めた雪の中からは動物の食事の跡（食痕）やフンなども現れ、冬の間動物たちの生活をのぞき見るのも面白い。増水して水をたっぷり湛えた川を見られるのもこの季節だけ。

早春を彩る妖精たち

雪解けと共に姿を現す小さな花たち。鉱山の周りでもたくさんの種類の花たちが顔を見せてくれる。儂く短い命の花たちに出会いに行こう。

- 落の臺【フキノトウ】**
実は可憐な花の形を、近づいて良く見て欲しい。
- 福寿草【フクジュソウ】**
川岸の斜面をにぎやかに黄色く彩る。
- 菊咲一華【キクザキイチゲ】**
白い可憐な一輪咲きが、道の脇によく目立つ。
- 蝦夷延胡索【エソエンゴサク】**
鈴生りの紫の花。蜜を吸いに来るマルハナバチも楽しい。
- 難波津【ナニワズ】**
小さな黄色い星型の花。群生の近くには香りが立ち込める。
- 富貴草【フッキソウ】**
一草では地味な花だが、群生して一面を白く彩る。
- 玉苔【タマゴケ】**
鮮やかな緑の中に、真珠の様な白い玉（胞子体）が愛らしい。

ここに挙げたのはほんの一部。他にもたくさんの可憐な花たちに出会うことができる。

長い冬が明けるこの季節、森は一気ににぎやかになっていきます。そんな雪解けから早春の鉱山での自然の楽しみ方をほんの少しだけご紹介。「ほかにどんなことが出来るの?」「どこに行くのが楽しいの?」「どんなものが見られるの?」...そんな興味を持った方は、是非鉱山のスタッフまで。旬の情報を教えますよ。

南から来る鳥たち

冬の間暖かい南方で過ごしていた鳥達が次々と姿を現し、ここで冬を越していた鳥達と共に、さえずり始める。さえずりはパートナーを見つける歌声。しばらくすると、ゴジュウカラなどの小鳥が巣から出入りする姿も見ることが出来る。姿も声も一度であったら忘れられないのが斑鳩【イカル】。その他にも鷺【ウソ】、鴿【シメ】、赤腹【アカハラ】、島柄長【シマエナガ】、野鶺【ノビタキ】、紅猿子【ベニマシコ】、鶯【ウグイス】、青鴉【アオジ】、瑠璃鶺【ルリビタキ】なども見られる。

池の中のいのち

雪解けで姿を現す池や水溜りはにぎやかだ。子ども達に人気なのは、蝦夷赤蛙【エゾアカガエル】や蝦夷山椒魚【エゾサンショウウオ】の卵。運がよければその壮絶な産卵シーンに出会うこともできる（ホント、壮絶なのだ）。おたまじゃくしやアメンボなども活発に活動始める。

初蝶

春、その年の最初に出会う蝶のことを「初蝶」と言い、俳句の季語にもなっている。成虫のまま冬を越した蝶たちが、早春の花に誘われてやってくるのだ。緋緘蝶【ヒオドシチョウ】、孔雀蝶【クジャクチョウ】、瑠璃立羽【ルリタテハ】など、まだ色彩の少ない森に華やぎを添えてくれる。精錬所跡の川原では会える確立が高い。あなたの今年の初蝶は?

春から始まる 新プログラム

2008年度のふおれすと鉱山の事業はさらに、さらにパワーアップ！
春から新しいものがはじまったり、いままでの活動もさらに勢いを増して展開していきますよ！

そして、ふおれすと鉱山の内側の動きも少し変わるんです。
ん、具体的にはですね、地域の資源を調査する活動を専門にする「調査部門」を設立して、調査活動に一層力を注いでいくんです。地道な調査活動も、いろんな可能性を秘めています。これからのプログラム展開にもイキテルHOTな話題を提供していきますよー！というわけで、春から予定している新しい取り組みを少しだけご紹介したいと思います！

●鉱山ショート・ショート
鉱山スタッフによるショートガイドプログラム。ふおれすと鉱山周辺のフィールドへ旬を求めて出かけます。朝の気持ちいい散歩を一緒にしましょう！[大人対象：通年で実施 4月の予定は裏表紙を！]

●鉱山中学生キャンプ
中学生限定！真夏の鉱山で自然の中にどっぷりつかって不便な暮らしをエンジョイします。その他中高生向けプログラムも企画中です。

●父と子のプログラム
お父さんと子どもがじっくりふれあうプログラムを展開します。お母さんとはしばし離れて、父子のきずなを深めましょう。[対象は乳幼児～小学生まで]

●森の子育てサロン（仮称）の開設
週1回、ふおれすと鉱山でサロンを開設します。主に子育て中のお母さんたちがゆっくり過ごしながらか交流する空間づくりを行います。[6月～11月の間を予定]

●通学合宿
ふおれすと鉱山で寝泊りしながら学校へ通います。自然の中で遊んで、宿題して、ご飯を食べて・・・知らない友達との共同生活を体験しましょう。[小4～6対象：11月実施予定]

●コーガン・子育て支援広場
現・市民展示室を木のぬくもりを感じる空間へ。そして親子が過ごしやすいうちスペースに。現在、企画進行中。今年中にリニューアルオープン予定です。お手伝いをしていただける方も大募集！

●アースデイ in ふおれすと鉱山
「地球のことを考え、行動する日」。1970年から続くアースデイは世界184の国と地域、約5,000箇所で行われている世界最大の地球フェスティバルです。世界につながる「地球の日」をふおれすと鉱山でも実施しますよ。[みんな対象：5月実施予定]

●ラプアース・グリーンアップ
北海道中の市民、企業、行政が協力して自然の中に散らかったごみをみんなで一緒に回収する活動に、ふおれすと鉱山も参加します。いつもお世話になっている鉱山のフィールドを、お散歩しながら楽しくキレイにしましょう！[みんな対象：6月実施予定]

記憶と縁

《ことしは勤めにそとへ出てゐないひとは みんなかはるがはる林へ行かう》

ここから直線距離で25kmばかり南東にある鉱山町。伊達市までとあんまり変わらないが、実際に行こうと思うと噴火湾沿いを70km走らねばならず…。

そんなこんなで、前々から一度「遊び」に行きたいと口に出してはいたものの、実際に足を運んだのはつい2年ほど前。それも「遊び」ではなく、「えぞCONE」の打ち合わせで。

あ、いやいや、そういえば、今から15年ほど前、この地を訪れたことがあったんだ。

鳥のやうに栗鼠のやうに そんなにさはやかな林を恋ひ

足を運んだ理由は忘れてしまったけれど、さる方の案内で川又温泉までの道（沢）を、靴を濡らさぬことだけに神経を使って歩いた記憶を、鉱山町へ向かう道中で見た切り岸が、するすると引き出してくれた。あそこにはハヤブサがいたんだっけな。

あの頃はもちろん「ふおれすと鉱山」は産声さえも上げて無く、あたりがどんな景色だったかも定かではない。でも、その場所にも自分にもいろいろな時間がめぐりめぐって、互いに再び繋がるというのは、偶然なのか必然なのか、それとも運命なのか。

噴火湾のこの黎明の水明り
室蘭通ひの汽船には 二つの赤い灯がともし
東の天末は濁つた孔雀石の縞
黒く立つものは樺の木と楊の木

今から85年ほど前、石や森や星や鳥を愛した宮沢賢治が辿った道は、洞爺と登別を結ぶ道でもあり、賢治好きな自分にはますます不思議な縁に感じられたりして。

そんなもろもろ含めてこれはもはや宿命なのだ、70kmの道のりを25kmに思えるくらいに足繁く通い合う仲になっていきたいものだ、と暖かな日差しの中でつらつらと考える次第。

これからもよろしゅうお願いいたします。

※文中の詩は、宮沢賢治「噴火湾（ノクターン）」より抜粋。

what's いぶり木育推進協議会

いぶり木育推進協議会とは、地域に「木育」の取り組みを提供し、木・森とのふれあいを促進することを目的に、2008年1月に発足しました。発足の構成メンバーは、私たち「モモンガくらぶ」と洞爺財田自然体験ハウスを運営している「財田地区自然ふれあい利用協議会」の2団体からなっています。

具体的な活動は…、手始めに2008年3月に木育マスター講座（全3回）と、野外版木と森のあそび場を行いました。今年度2008年には、洞爺と登別のコラボ企画を検討中。乞うご期待ください！



text: 鈴木 利典
(洞爺財田自然体験ハウス)

生まれ：愛知県（でも本籍は富良野）。最近：遠近両用になった。体重が減った。白髪が増えた（＝そんな年になった？）大学を出てからこれまでずっと、自然に関わる仕事ばかりを続けてこられました。これも人の「縁」のおかげ。この縁を次世代へと続けていくのが、今の自分の役割と捉えて仕事しています。

■ KOUZAN EVENTS

鉱山で行われるイベントチェック!

4月
〔15日、17日、22日、24日〕 鉱山ショート・ショート
〔19日〕 ボランティア研修会
〔27日〕 春を探しにワンデイハイク

5月
〔3日、4日、5日〕 春のスペシャルウィーク
〔10日、11日〕 KoNG養成講座※
〔11日〕 フラワーソング／バードソング
〔17日〕 森の子くらぶ／チカタビレンジャー養成講座
〔18日、25日〕 森のようちえん
〔21日〕 森のサロン
〔24日〕 ながぐつレンジャー
〔25日、31日〕 野外の遊び方講座
※KoNGとは、コーザン・ネイチャーガイドの略称です。

6月
〔1日〕 春の登山会 (来馬岳)
〔4日、11日、18日、25日〕 コソダテ茶話会
〔12日〕 たまにはアウトドアライフ
〔14日〕 森の子くらぶ
〔15日、22日〕 森のようちえん
〔20日〕 森のサロン
〔21日〕 ながぐつレンジャー
〔21日、22日〕 KoNG養成講座
〔28日〕 チカタビレンジャー養成講座

最新情報はこちら! → <http://npo-momonga.org/>

NEW

【自然ガイド】 鉱山ショート・ショート

日中の1時間程度のガイドを行います! ふおれすと鉱山スタッフとゆく、森あるき。夜のショートプログラムも企画中です!

4月 15、17、22、24日

子ども事業スタート

今年も「森のサロン」(0~3歳)、「森のようちえん」(3~6歳)、「もりもり森の子くらぶ」(5~6歳)、「コーザン・ながぐつレンジャー」(小学生)の募集が5月からはじまります!

5月3・4・5日 GWゴールテン・ ウィークも鉱山!

5月3・4・5日は毎年恒例、森の中で遊んで楽しむ自然体験まつり「コーザン・スペシャルウィーク」を実施します。

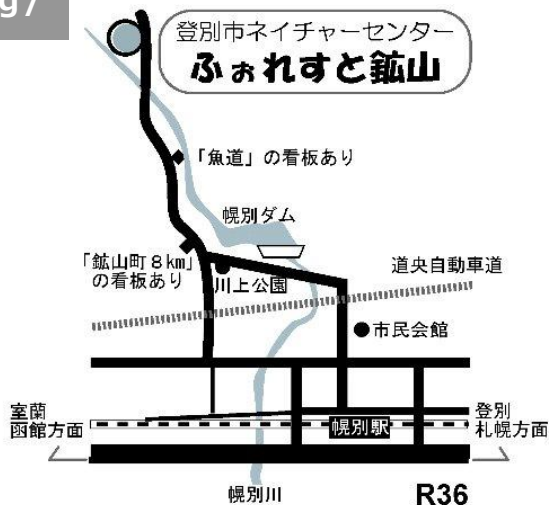
アースデイEZO・イベントとして同時開催!

■ KOUZAN INFORMATION

ふおれすと鉱山ご利用のご案内

開館9:00~17:30 入館料・無料
休館日: 毎週月曜日 / 7月~8月の間は休館日なし
(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります)

- ・木工室・森の図書室はご自由に使っていただけます。そのほかに双眼鏡、歩くスキー、マウンテンバイク、調理台などをご利用いただけます。
- ・ふおれすと鉱山は、宿泊型体験施設です。宿泊を希望される方は、下記連絡先へお問い合わせください。
- ・森のおうち、森トンハウス、ツリーハウス(かぜのいえ)のご利用も可能です。その他ご不明な点は、下記連絡先へ。



鉱山録

EDITOR'S LOUNGE

三寒四温は春の訪れのしるし。鉱山町では小鳥や蛙たちがにぎやかになってきたし、柳の芽も開いたし、福寿草も鮮やかな黄色になったし、露の臺もおいしくなったし…。この時期、春がぐんぐんと目に見えて進んでいきます。今このときしか楽しめない季節の移り変わり。鉱山町に遊びに来て、音や色彩や空気の変化を肌で感じてみてくださいね。(み)

登別市ネイチャーセンター通信誌「鉱山録」 Vol.22

発行: 2008年4月

発行所: 〒059-0021 北海道登別市鉱山町8-3

電話番号: 0143-85-2569 FAX: 0143-81-5808

E-Mail: kouzan@npo-momonga.org

URL: <http://npo-momonga.org/>